
第4部 団員より

団員からのメッセージ

オケと吹奏楽で迷っている方へ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、この東大オケに関心を持ち、新歓に来ていただいて本当にありがとうございます。ここからは、入団を迷っている方に向けて、団員からのメッセージをお届けします。私からはオケと吹奏楽で迷っている方へメッセージをお送りしたいと思います。

弦楽器の方は迷いがないと思うので、管楽器と打楽器の方が該当するかと思います。私は弦楽器の経験はなく、東大オケに入ってヴィオラを始めました。中高では吹奏楽でフルートなどを少し触っていました。高校の吹部ってコンクールに出ることが一つの目標だと思うのですが、私の高校は地区銀レベルの普通の高校なので、私自身は特にそれほど吹奏楽に思い入れがあったわけではありませんでした。でもコンクール行くと、同じ地区に全国金みたいな高校っているじゃないですか。そういう高校の演奏って聞いててドキドキするんですけど、パターン化されているというか。ピッチ完璧で音量出してダイナミクスつけて縦の線合わせとけば OK みたいなところを感じていて（それが難しいんですが...）。あと、#♭盛り盛りの調性の曲が課題曲に必ず1曲は入ってて、強い高校がそれ吹いて褒められて金もらいたい文化ありませんか。それから、これが一番嫌なんですけど、例えばピティナのピアノコンクールとか個人技を評価するのは真っ当な発想だと思うのですが、みんなで作り上げた音楽そのものに対して優劣をつけるシステムが個人的に疑問に思います。吹奏楽のコンクールはあってもオーケストラのコンクールってないですか。吹奏楽にも良さがあるって私がまだ分かっていないだけなのですが、高校生の部活として完成されすぎてそれ以上もそれ以下もないような印象を抱いています。吹奏楽が大好きな人にはとても申し訳ないし、そういうのが好きな人は吹奏楽をやれば良いと思います。この辺りは好みだと思うので、本当に、吹奏楽が好きな人は吹奏楽をやるべきです。私は吹奏楽がそれほど好きではなかったし、オーケストラの方が好きなので、オーケストラを選びました。

吹奏楽のあり方は傍に置いておくとして、演奏面では、オーケストラでは管楽器の方はめっちゃ目立ちます。目立つのが好きならオーケストラ推しですし、パート単位で一緒に同じ音を吹くみたいなのが好きなら吹奏楽のが良いと思います。ピッコロとかは吹奏楽だろうがオーケストラだろうが変わらないんですが。オーケストラでは管楽器は1パート2人か3人か、ホルンで5人6人とかそういう世界で、1stと2ndで分かれたらもう1人しかいないので、自分が吹けなかったらその音は無かったことになってしまいます。それを美味しいと思うか、それとも緊張して無理~と思うか。

オケの大きな魅力の一つとして、何百年も同じものが演奏され続けて、ブラボーって言われ続けているところがあります。吹奏楽で演奏する曲は古くて100年前とかじゃないですか。双頭の鷲の旗の下とかはあるけれども。でもほぼほぼ最近の曲じゃないですか。それが好きな人はそちらへどうぞなんですけど、やっぱり何百年もそのままの形で残り続けているものには形容できないすごい何かがあると思います。

結局は自分がオケ向きなのか吹奏楽向きなのかで決めるべきだと思いますし、向いてなくてもオケの方が好きでオケやりたければオケをやれば良いと思います。音楽を楽しむという意味では同じなので、本当に自分の好きな方を選んでもらえればと思います。

♪02Va. 田口 仁

新しく楽器を始めたい方へ

新入生の皆さん、合格おめでとうございます。

新しく楽器を始めようと思っている皆さんに向けて少しお話したいと思います。

私は、クラリネットパート2年の者で、大学から新しく楽器を始めました。中高時代は水球をしていて、クラリネットとは無縁の生活を送っていました。大学入学を機に新しいことをしようと思い立ち、音楽が好きだったこともあって東大オケの練習を見学に行きました。そして、その時の雰囲気よかったですことからそのまま入団を決め、今に至ります。

大学から楽器を始めることについて、周りの経験者についていけるだろうか、私でもやっていけるのだろうか、と不安なことも多いと思います。確かに、周りの多くが経験者、という中で初心者がやっていくのはなかなか大変で、私自身、困難を感じる場面も多々ありました。しかし、新入生の皆さんには心配することなく入団していただきたいと思います。それは、楽器初心者からオーケストラプレーヤーに成長するための十分な環境が東大オケにはそろっているからです。具体的には、まず何より初心者への手厚い指導があげられます。先生（責任をもって紹介します）や先輩とのレッスンを通して、オケでの演奏に必要な力を基礎から学ぶことができます。さらに、豊富なアンサンブルの機会が設けられていることも東大オケの特徴です。オーケストラでの演奏や、同期や先輩との室内楽（小規模なアンサンブル）を通して、合奏の楽しみを早いうちから味わうことができます。例えば、駒場祭のオーケストラ練習は8月から始まります。当時、音を出すことで精いっぱいだった私は、自分がどこにいるのかわからなくなるなど、アンサンブル以前の問題を抱えていましたが、同期や先輩たちは静かに見守り、指導してくれました。思い返すと、この上なく貴重な経験だったと、あらためて実感するところです。

このように東大オケには、努力した分だけ上達できる環境が整っています。たとえ初心者であっても、音楽が好きだという強い気持ちがあれば十分にやっていけるはずです。そして何よりお伝えしたいのが、オーケストラは非常に楽しいということです。音楽を愛する100人近い仲間と1つの作品を作り上げていく魅力は、客席からは決して味わうことができないものです。一生モノのかけがえのない経験となること間違いありません。これを読んだ皆さんと一緒に演奏できる日が来ることを楽しみにしています。

♪02Cl. 阿部祥太郎

別の楽器を始めたい方へ

新入生の皆さんはじめまして。オーボエパート3年の平井です。大学から別の楽器を始めたいと思っている方向けに書いていこうと思います。

まず自分語りから始めますと、私は小学生の頃からバイオリンを弾いていましたが、管楽器の経験は学校の授業でのリコーダー程度で、オーボエについては全く分からない状態で入団しました。また、バイオリンも個人で嗜む程度だったので、吹奏楽やオケに属したことがなく、アンサンブルについても完全な初心者のまま入団しました。新歓期は、オケに入るつもりは特になく、以前経験したことのあるバドミントンや合唱の方を考えていました。しかし一応という程度で登録していた、東大オケの新歓用のラインでオーボエを初心者でも募集していると聞き、興味が湧いて軽い気持ちで4月末に練習の見学に行くことにしました。これが私と東大オケとの出会いでした。そこで見た団員の皆さんは本当に楽しそうに演奏していて、今まで聞き慣れなかった木管楽器のサウンドに思わず心を奪われてしまいました。私も練習してこの人たちのように1つの音楽を大人数で作りたいと思い、間もなく入団を決意しました。

東大オケの1年生の初心者はほぼ全員、11月末の駒場祭で演奏会デビューします。練習は8月から始まるため、およそ4か月もの間、1つの演奏会に向けて練習することになります。楽器経験はあると言っても、弦楽器から管楽器への転向だったので、初めは音を出すことに精一杯で、しばらくしても技術的なことに非常に苦勞し、ハーモニー以前の問題を抱えて周りに迷惑をかけていました。それでも先輩方や同期の皆は何も言わずただ見守ってくれましたし、レッスンの先生は辛抱強く練習に付き合ってくれ、何とか駒場祭を乗り切ることが出来ました。

周りの方は優しく教えてくれると思うので、とにかく焦らず、自分のペースでじっくり時間をかけて楽器と向き合うことが大切だと思います。一度音楽を経験していれば上達も早いと思いますし、他の楽器奏者の気持ちも理解できるので、これまでと違った楽器をやってみるのもいいのではないのでしょうか。

東大オケに入ってから2年弱経ちますが、東大オケに入ってよかったと思います。もちろん大変なこともあります、それ以上の楽しさや充実感といったものがあります。これを読んだ貴方と一緒に東大オケで楽しく演奏できることを楽しみにしています！

♪01Ob.平井悠太

地方出身の方へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。02Vn.の水谷です。このオリパンプが学生生活を謳歌するための一助となれば幸いです。

さて、皆さんの中にはいわゆる地方出身の方もいらっしゃるでしょう。かく言う私は兵庫県出身です。そして東大オケには、私以外にも地方出身者が意外と多く在籍しています。地方出身であることを理由に入団を躊躇する必要はありません。むしろ地方出身者こそ東大オケに入るべきだと考えます。

まず、東大オケに入れば多くのかけがえのない仲間に出会えます。オンライン授業が主となってしまった今日において、同クラやその他の学生と会う機会は確実に減りました。ただでさえ地方出身者は家族や地元の友人と離れ、人とのつながりが希薄になりがちです。このような状況下で、アットホームな東大オケの存在がどれほど貴重なことか。入団後に実感することとなるでしょう。

次に、東大オケは毎年コンサートツアーにおける地方公演を行っています（今春に予定されていたツアーは某ウイルスのせいで水泡に帰してしまいましたが…当団は屈しません）。東京から全国に出て行けるのは、まさに団員の多様性があるからこそ。このツアーは主として団員の出身地から公演地を募り全員で企画されます。したがって、地元で公演し故郷に錦を飾ることもできるのです。

ここまで地方出身者にとっての東大オケの魅力を述べてきましたが、皆さんの中には「活動費用の捻出」が壁となり踏み切れない方もいらっしゃるでしょう。私も入団当時、一人暮らしをするにあたって既に出費がかさんでいる上に、安くない活動費用を支払うのは困難のように思えました。加えて私は予備校代も準備する必要がありました。しかし結論から申し上げますと、オケの活動と費用の工面は両立可能です。東大オケの練習は曜日固定、かつ短時間で集中して行うものです。よって有効活用できる時間は多くあります。私は現在、早朝バイトと家庭教師を掛け持っています。空いた時間は、学業やご飯の作り置き、自主練習に費やすことができました。結果、今では個人レッスンに通う余裕もあります。

音楽に本気で向き合える環境、志高き友人たち、質の高く濃い練習時間、優しく上手な先輩方。これらは東大オケにしかないものであり、安くない活動費用に見合う素晴らしい環境であることを、この私が保証します。また、コロナが落ち着けば大学で個人練習を行うことも可能でしょう。皆さんと一緒に演奏できる日を、心よりお待ちしております。

♪02Vn. 水谷結衣

ブランクのある方へ

新入生の皆さん、初めまして。東大オケ 02Fg の野口桃歌です。私からは経験者だけどブランクがあって、大学でまた始めるか悩んでいるという方へメッセージを送らせていただきます。

私は3歳から中3くらいまでクラシックピアノ、小5から中1までトランペット、それからチューバ、そんでもって中1の終わりくらいから中3までファゴットを吹いていました。たまにいる音楽歴滅茶苦茶な人です。管楽器はすべて吹奏楽部でやっていました。中学校までで吹奏楽はやり切った気がしたのと、高校の吹奏楽部は忙しそうだったのと、引っ越しで下宿暮らしになったので一旦私の音楽人生はストップしました。

ところが、いやー、物心ついたときから呪いのように音楽をやっている人間から楽器を取り上げたところで新しい私の発見とかできないんですね。ずっと音楽がやりたくて仕方なくて、楽器を持っている人間がうらやましくて、それが理由で吹奏楽部の定期演奏会にも行かないし、軽音楽同好会のライブにも行かないなどの愚行を続けていました。

それでも就職したら楽器吹けるような生活はないだろうし……とと思っていましたが、だからこそ学生のうちにしかできないことは今やろう！と深夜テンションで練習見学を申し込んだ次第です。

私が吹奏楽ではなくオーケストラを選んだのは、もともとオーケストラ派だったというだけで、中でも東大オケを選んだのは東大で一番有名っぽかったからです（深夜テンション）。東大オケでやるメリットは、組織力が強いのでコロナ禍でも演奏機会が比較的確保されているのが最近だと大きいかなと思います。

入部してみて、最初は思うように吹けないし同パートのうまい人々との格差に日々落ち込むばかりですが、音楽というアイデンティティの器が満たされている感じがするのが一番うれしいです。個人分奏という先輩方が1対1でレッスンをつけてくれる機会が月に何度もあるし、レッスンの先生との出会いは秋田の片田舎で一人で吹いていた時の私にはありえない話でした。

ブランクがあってふとこの駄文を読んでもらっているあなたなら、音楽を奏でたあの頃の未練があるのではないですか？決して楽な部活ではないですが、好きなことを好きなだけできる大学で一步踏み出してみるのも悪くないと思います。

東大オケで待ってます♡

♪02Fg. 野口桃歌

学業との両立が不安な方へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。チェロパート2年の秋澤です。この冊子を見てくれている人の中には、「オケ入ってみたいけど、勉強と両立できるか不安…進振り点もある程度必要だし…」と思っている人も少なくないと思います。1年前の自分も同じ不安を抱えていました。そんな筆者がオケと学業の両立について感じていることを、これから書いていきたいと思えます。

正直な話、オケと勉強を両立するのは大変だと思います。オケの活動に多くの時間を割いているので当たり前です。しかし、オケに入っていなかったとしても同様に勉強は大変だと感じていると思います。なぜかというと、そもそも大学の勉強は難しいからです。オケに入っているかいないかに関係なく、だれでも最初は苦労します（一部の天才は楽々ついていきますが、そんな人はそもそも両立を心配する必要がありません）。その中でだんだんと要領を得て、時間を上手に使えるようになっていきます。とにかく状況に慣れます。特に、オケと学業との両立のことをすでに意識してこのページを読んでいるあなたは、問題なく自分なりの時間の使い方を身に着けていけるでしょう。むやみに心配する必要はありません。

むしろオケに入っていると、大学の勉強だけと向き合う必要がなくなり、授業や課題に押しつぶされずに日々を過ごせます。例えば、オケの練習に参加している間は勉強のことを考えずに済み、いいリフレッシュになります。また、オケの仲間と授業やテストの情報を共有したり、分からないところを教えてもらったりもできます。ちなみに2020年度はコロナによってオケの活動が制限されていた期間があったのですが、自分は活動が止まっていた時期に比べて、活動をしていた時期の方が学業と上手に向き合えていたと思います。実際、筆者はオケの活動がなかった時期よりもあった時期の方がよい成績でした。

このページを読んでいる人の中には、高い進振り点が必要な学科を目指している人もいるでしょう。でも心配ありません。東大オケには、そうした学科に進学した先輩も少なからずいます。オケの活動に取り組みながら高い点数を取ることは可能ですし、また高い点数を取っている先輩に話を聞いてどうやったらよい成績を取れるか聞くこともできます。

東大オケの団員はすべて東大生です。あなたがもし仮にオケと学業の両立につらさを感じたとしても、同輩たち、先輩たちは皆、あなたの置かれている状況が分かります。東大オケには、あなたが悩んだとき同じ悩みを共有し、意見をくれる仲間がいます。

東大オケでの4年間は多くのかけがえのないものをもたらしてくれます。私たちと一緒に充実した大学生活を過ごしていきましょう。

♪02Vc. 秋澤 周

団員に聞く！～東大オケ特別アンケート～

ここまで東大オケの活動紹介・パート紹介をしてきましたが、東大オケの団員はどんな人で、東大オケへどんな思いがあり、どんな曲が好きなのか？02(2年生)にアンケートをして調べてみました！これを読んで「東大オケってこんな感じなんだ！」「オケでの活動ってこんなふうになるのかな…」などなど、いろいろと想像してみてください。

29人の02に回答いただきました。

○基礎情報

Q1. 文系ですか？理系ですか？

A1. 文系→8人、理系→21人

Q2. 勉強（とか普段の生活とか）と両立するのは大変ですか？

A2. 大変→15人、大変ではない14人

Q3. 落単しましたか？

A3. した/したかも→9人、してない/してないと思う→20人

Q4. バイトは週何日くらいですか？

A4. 0日→4人、1日/2日→12人、3日/4日→12人、5日/6日/7日→1人

Q5. みっちり個人練習するのは週何日くらいですか？

A5. 0日→1人、1日/2日→11人、3日/4日→10人、5日/6日/7日→7人

○音楽経験について

Q1. 今の楽器の経験年数は？（入団した時）

A1. なし→4人、1年以上→5人、5年以上→12人、10年以上→8人

Q2. 今の楽器以外の楽器経験はありますか？（複数可）

A2. ピアノ→14人、バイオリン→1人、その他→10人、なし→11人

Q3. 読める楽部記号について（複数可）

A3. ト音記号→27人、ハ音記号→11人、ヘ音記号22人、読めない→1人

○東大オケについて

Q1. 入団しようと思ったきっかけは？

A1. 東大のオケの中で一番本気度が高いから/サマコンを聴いて/大学に行ってもオケを続けたかったから/オケで演奏したくて/本気で音楽できると思ったから/高校生の時から憧れていたから/楽器の上達のため/通っていたバイオリン教室の先輩に影響されて/家族に勧められて/定演で感動した/コンサート聴きに行ったら憧れたから/オケやりたかった/五月祭の演奏を聴いて/しっかりと音楽ができると思ったから/新たな

ことに挑戦したかったから/中学生の時から憧れていたから/楽器を続けたかったから/他のオケよりレベルが高そう/トレーナー陣が豪華/演奏機会が多い/大学ではオケをやろうと決めていた/友人に誘われて/高校生時に演奏を聞いて憧れていたから/尊敬する先輩がいたから/東大オケに入るのが東大に入る目的だったから

Q2. 東大オケの魅力は？

A2. 全員で一つの曲を完成させることができる/同期と切磋琢磨して上手くなれる/先輩も優しく面倒見が良い/超一流のレッスンを受けられる/ツアーがある/先輩がかっこいい&優しい/みんなの音楽に対する熱量がすごい/それぞれが演奏とかオケそのものをもっと良くすることを考えている/そのために動ける人達が集まっている/みんなモチベが高い/レベルが高く様々な面で勉強になる/音楽を愛する人が多い/全国各地で演奏できる/みんな楽器が上手くて誇りを持っている/みんな真剣に取り組んでいる/周りが上手い/先生がすごい人ばかり/上手い人が多いし全体のモチベも高い/ちゃんとした舞台に立てる/上手い先輩方や素晴らしい先生方に教えてもらえてレベルの高いオケで演奏できる/先輩がレベチ/伝統ある/みんな本気でオケに参加している感じがある/うまい/レベルの高い先輩から楽器のことだけでなく音楽的な素養も教わることができる/憧れのホールで弾ける/先輩方がびっくりするくらい上手くてかっこよくて憧れて練習して上手くなれる/すごいホールで演奏できる/ハイクオリティな演奏/周りの人が上手い/友達がたくさんできる/熱心/良いホールで演奏できる/全体の技術力が高い

Q3. 東大オケに入ってみて感想を教えてください

A3. 楽しい/仲間にも恵まれよりいっそう上手くなることができてますます楽器を演奏するのが楽しい/思った通りの素晴らしい団体/コロナ対策めっちゃ徹底している/練習キツいけど本番迎えた時は練習しててよかったと思った/みんなすごい/周りの人たちが上手で取り残されないか不安だった/ガチプロだらけで刺激がある/やはりオケの一員として演奏できるのは最高/良い人ばかり/ほんと楽しい/めっちゃ楽しい/魅力的/いろいろな人がいて面白い/楽しいしやりごたえがある/先輩がめっちゃめっちゃ優しい/トレーナーが豪華/みんな演奏するのが楽しい/毎日楽しいもっと行きたい/周りの人上手い/楽しいが忙しい/オケ民がオケ好き/楽しすぎて人生変わった/オンライン授業が主となった今東大オケの繋がりは超重要で東大の友達ほぼ東大オケの人/オケで友達ができるとても助けられた/絆が強い

Q4. 東大オケのダメなところを教えてください

A4. 費用がかかりすぎる/真面目すぎる/活動に関して大学に束縛されがち/組織が大きいから何かオケに関わることを変えていくのにちょっと時間と手間がかかる/形式主義なところがある/個々がきちんと努力してるから焦る/束縛が強いけどご時世的には○/会議めっちゃ長い/毎年やる程度決まってる安定しすぎている感はある/ちょっと内輪なところがある/先輩たちの言葉遣いがちょくちょく硬すぎる/部費が高い/ない/お金かかる/トラックの送り出しが昭和感ある/大学に逆らえない/一人暮らしで駒場周辺に住んできると本郷に行くのが面倒(遠い)/みんな上手すぎて悲しくなる/お金がかかる/バイトのシフト入れにくい/理系が多い

Q5. 先輩の印象は？

A5. 優しい/アドバイスが的確で曲の理解度がピカイチ/吹き方の表情がたくさんある/上手い/優しい/うまい/仲良くなりたかった/うまい/うまい/うまい/頼りになる/技術だけでなく表現面での発言のレベルも高く論理的/素敵/音楽の知識がすごい/うまい/かっこいい/すばらしい/めっちゃ上手い/とても優しい/優しい/上手/かわいい/かっこいい/すばらしい/とんでもない/上手いし知識豊富だし優しいし何あれっけいつも思う/めっちゃ優しい/うまい/おしゃれ/演奏面も音楽の作り方も曲の知識もレベルが高い/うますぎて吐血/まじで上手だしまじでかっこいい/優しい/うまい/優しい/美しい/面倒見がいい/上手くて恐れ多い/優しい/仕事できる/すごく優しい/丁寧

○好きな曲

Q1. 一番好きな交響曲

A1. チャイ 5 (めっちゃいっぱい)/ブラ 1(いっぱい)/ベート 7 (複数)/ドヴォ 8(複数)/チャイ 6 (複数)/タコ 5(複数)/タコ 8/タコ 10/タコ 11/幻想交響曲/ベート 5/ドヴォ 9/ダンテ交響曲/プロコフィエフ 5/チャイ 4/シェエラザード/オルガン付き/ラフ 2/スペイン交響曲

Q2. 一番好きな協奏曲

A2. ピアノ：プロコフィエフ 3(複数)/ラフマニノフ 2(複数)/ラフマニノフ 3
バイオリン：チャイコフスキー(いっぱい)/メンデルスゾーン(複数)/ブルッフ(複数)
オーボエ：モーツァルト(複数)
チェロ：ドヴォルザーク(複数)/エルガー/
ホルン：シュトラウス 1(複数)/グリエール/モーツァルト/ブント
番外編：ヴィヴァルディ『調和の靈感』/ヴィヴァルディ『四季』

Q3. その他お気に入りの曲

A3. シベリウスのバイオリン協奏曲/こうもり序曲/ドン・キホーテ/韃靼人の踊り(複数)/ブエノスアイレスの冬/トゥーランドットより誰も寝てはならぬ/ウエストサイドストーリーよりマンボ/シェエラザード(複数)/サムソンとデリラよりバッカナール/弦セレ/ハイドンのディベルティメント/眠りの森の美女/謝肉祭/緑黄色社会/歌劇こうもり/1812年/ニューヨークのロンドン子/チャルダッシュ/魔笛/火の鳥

Q4. 思い出の曲

A4. シベ 2 (いっぱい)/新世界/ブラ 1/チャイ 5 (複数)/秘技 III 旋回舞踊のためのヘテロフォニー/大工/くるみ割り人形/展覧会の絵/ドヴォ 8/魔弾の射手/フェスティバルバリエーションズ/威風堂々/韃靼人の踊り/プロコフィエフのシンデレラ/矢代秋雄の交響曲/謝肉祭/ダフニスとクロエ/ベート 5/弦セレ/ドンファン

Q5. 演奏してみたいホール

A5. サントリーホール(めっちゃいっぱい)/シンフォニーホール/東京芸術劇場/NHKホール/すみだトリフォニーホール/川口リリアホール/ベルリン・フィルハーモニー/ミュゼザ川崎/みなとみらいホール/兵庫県立芸術文化センター

いかがでしたか？このアンケートが皆様の参考になれば幸いです！

♪ コンサートツアー特集 ♪

東大オケならではの活動の一つに、東京近郊を飛び出して全国各地を巡るコンサートツアーがあります。団員の中にも、地方公演での演奏をきっかけにして入団した、という人が少なからずいます。ここでは昨年度のサマーコンサートについてご紹介します！

◎2年前のサマーコンサートの概要

8月2日 **東京公演** @東京オペラシティ
8月4日 **栃木公演** @那須野が原ハーモニーホール
8月12日 **北海道公演** @札幌文化芸術劇場 hitaru

行程① (8月3日～8月4日)

8月3日

13:00 宇都宮高校集合 (現地集合)

13:00-18:00 音楽教室

↓各自でホテルへ移動

8月4日

9:00 ホール到着 (バスで移動)

17:00 公演終了・バスで宇都宮駅へ
宇都宮駅に到着次第解散

行程② (8月11日～8月12日)

8月11日

新幹線と飛行機に別れ、札幌へ

札幌駅・新千歳空港でそれぞれ解散

↓

各自でホテルへ移動

8月12日

13:00 ホールに現地集合

21:00 北海道公演終了

21:30 レセプション (全体での打ち上げ)
現地解散 (各自で観光など)

この年のサマーコンサートでは、地方公演として栃木と北海道で公演を開催しました。普段演奏するホールと違った環境での演奏は楽しく、貴重な経験になります！他にツアーの大きな魅力としては、以下のようなものがあります。

・移動日や解散後は自由行動！

移動日や公演が終了し現地解散となった後は自由行動となります！現地の観光をしたり、グルメを満喫したり、団員それぞれで楽しんでいるようです。

・現地での交流

例年、ツアーと同時に公演地近くの学校を訪問し、音楽教室を開催させていただきます。

また、街頭での室内楽演奏会を開催した年もあるようです！

・公演地は自分たちで決められる！

執行代となる年 (入団3年目) の公演地については公演地を話し合い決定します。

自分の地元での凱旋公演も夢じゃない！

コンサートツアーの企画は簡単ではありませんが、その大きな達成感は忘れられないものになるでしょう！

♪ 室内楽特集 ♪

東大オケの活動は年4回の本番（五月祭・サマコン・駒場祭・定期演奏会）が中心ですが、アンサンブル技術や音楽性の向上という目的から、室内楽への取り組みも日頃から推奨されています。室内楽とはオケよりも小編成で演奏する音楽の形式のことであり、様々な楽器との共演を楽しむことができます。

◎豊富な演奏機会！

東大オケは毎年、五月祭と駒場祭で室内楽演奏会を開催しており、多くのお客様に来ていただいております。また年数回ある合宿でも室内楽大会が開催され、他の団員や先生方の前で演奏したり、先生方と共演したりすることもできます。更には各セクションで室内楽大会を開くこともあります。やはり「本番」があることによって集中して練習することができますし、聞いた人からアドバイスももらえるので勉強になることも多く、やりがいがあります。また聴く側も、他の団員の演奏を聴いて刺激を受けることができます。室内楽に取り組むことで、オケ本番だけでは物足りないという人でも演奏活動を充実させることができるとともに、アンサンブル力や表現力を磨くことができるためオケでの演奏技術も向上させることができます。

◎自由に楽しく！

オーケストラだとクラシック曲が殆どですが、室内楽はクラシックに限らず様々なジャンルから選曲できるため、他にも音楽の趣味があるという人でも、同じ趣味を持った団員たちと一緒に好きな曲を演奏することができます。例えば、吹奏楽部を中心に吹奏楽曲を演奏するなどということもあります。また編成も自由なのでデュエットやトリオ、カルテットといった小編成のものから弦楽合奏やオーケストラに近い編成など大規模なものまで、演奏規模は様々です。更には自ら編曲して演奏したり、入団前にやっていた楽器を演奏したりする団員もいます。このように、自分のやりたいジャンルの曲を好きな編成で演奏できるという点も室内楽の大きな魅力の一つです。

東大オケは、オーケストラをがっつりやりたいという方は勿論、オケも室内楽も幅広く取り組んでみたいという方にまさにうってつけの団体です。少しでも興味を持たれた方は是非入団をご検討ください。みなさんの入団を団員一同、心よりお待ちしております！